

アップサイクルプロジェクト第4弾

**丸ノ内線引退車両のシート生地が一眼カメラ用ストラップに！
“Made in Tokyo”アップサイクル商品を数量限定で販売**

2026年2月6日(金) 11時から第1次販売、2月16日(月) 12時から第2次販売申込開始

東京地下鉄株式会社(本社:東京都台東区、代表取締役社長:小坂 彰洋、以下「東京メトロ」)は、リコーイメージング株式会社(本社:神奈川県横浜市、代表取締役:森 泰智、以下「リコーイメージング」)および3i株式会社(本社:東京都世田谷区、代表取締役:三島 拓巳、以下「蔵CURA」)と共創し、丸ノ内線02系引退車両のシート生地を活用した一眼カメラ用ネックストラップを、2026年2月6日(金)11時から第1次販売、2026年2月16日(月)12時から第2次販売として、数量限定で購入申込受付を開始いたします。

丸ノ内線02系は、1988年から新型車両の2000系の導入まで、約30年にわたって活躍した車両です。東京メトロでは、サステナビリティ重要課題(マテリアリティ)のひとつである「脱炭素・循環型社会の実現」を目指し、引退車両の廃材再利用や「引退した02系の“活躍”を別の形で残す」ことを目的に、「東京メトロアップサイクルプロジェクト」を推進しています。これまでも、02系のシート生地を活用したポーチ等の小物類を製作・販売してきました。

今回の第4弾では、耐久性に優れたシート生地をカメラストラップに採用することで、頑丈でしっかりとしたストラップとして活用できるのではないかと考え、PENTAXブランドのカメラ事業を展開するリコーイメージングと、カメラストラップ等カメラケア用品やアクセサリを企画製造販売している蔵CURAと共創し、シート生地を使用したアップサイクル商品として企画・開発しました。

カメラストラップは普通席・優先席の全2種類。当社制服に採用される袖章タグやロゴが入ったオリジナル織ネームも取り入れ、商品化しました。どれも、シート生地を洗浄後、東京都足立区の職人が、1点ずつ手作業で丁寧に縫い合わせており、東京で活躍した車両のシートが東京で生まれ変わる「Made in Tokyo」で製作しています。当初の企画時点ではリコーイメージングの販売ルートで普通席・優先席各150本の計300本を製作・販売予定であったところ、生地のカットを行った際に想定よりも多く製作できることが判明したため、SDGsの取り組みとして生地を廃棄することなく活用し、時期を分けて東京メトロでも販売することとなりました。

今後もアップサイクル商品の企画、商品化を推進し、お客様への新たな価値提供を目指すほか、SDGsへの達成にも貢献していきます。詳細は、別紙をご参照ください。

アップサイクルとは

捨てられるはずだった廃棄材等を有効活用し、付加価値を付け、新たな製品に生まれ変わらせること。

素材の一部分解や溶解等が発生するリサイクルと異なり、素材そのままを活かす点が特徴で、更なる省コストや省エネが期待できる。



丸ノ内線 02 系座席シート生地を活用したアップサイクル商品について

1. 第 1 次販売期間

2026 年 2 月 6 日(金)11 時～受付開始 ※売り切れ次第終了

2. 販売場所

〈リコーイメージングストアおよび PENTAX クラブハウス〉

(販売予定数 普通席 150 本 優先席 150 本)

[リコーイメージングストア](#) | [RICOH GR・PENTAX ブランド／カメラ・レンズ・双眼鏡 公式通販](#)

※リコーイメージングでの販売に関する詳細につきましては、上記リンク先をご確認ください。

3. 第 2 次販売期間

2026 年 2 月 16 日(月)12 時～販売開始 ※売り切れ次第終了

4. 販売場所

〈メトロコマース メトロの缶詰〉


(販売予定数 普通席 80 本 優先席 80 本)

[メトロの缶詰\(東京メトログッズ・鉄道グッズ通販サイト\)](#)

5. 紹介動画(東京メトロ公式 YouTube)

<https://www.youtube.com/watch?v=COaoL3ojap8>

6. 販売商品

東京メトロ×PENTAX カメラストラップ 丸ノ内線 02 系 (普通席(赤)) (左)	
東京メトロ×PENTAX カメラストラップ 丸ノ内線 02 系 (優先席(青)) (右)	
	【サイズ】 幅:約 38mm(ネック部) 全長:約 810mm(先紐部除く) ※ネック部 約 700mm 【取付適合カメラ】 ストラップ取り付け環の幅が 10mm 以上の一眼カメラ等 【販売数】 限定各 230 本 【価 格】 9,280 円(税込) —丸ノ内線をイメージした赤色の裏地に、耐久性に優れたシート生地を組み合わせ せてストラップに。織ネームには東京メトロと PENTAX ロゴを配置し、 「Tokyo Metro」のエンブレムには、実際の当社制服の袖章タグを採用。

7. 展示予定

実際に使用されていた 02 系の車両部品と共に商品を期間限定で展示します！

展示場所:〈PENTAX クラブハウス〉東京都新宿区四谷本塩町 4-8 パーシモンビル 1F

東京メトロ丸ノ内線・南北線四ツ谷駅から徒歩 3 分

<https://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/community/clubhouse/>

展示期間:2026 年 2 月 2 日(月)15 時～2026 年 3 月 13 日(金)営業終了時

展示部品:正面行先表示器、正面運行表示器、車内駅名表示器、速度指示計

8.「東京メトロアップサイクルプロジェクト」について

鉄道車両の更新に伴い、長年使われてきた車両の廃車は定期的に行われており、金属部分についてはリサイクル処理を実施してきました。しかしながら、座席シート等の布部材はリサイクルが難しく、資源循環の観点でも、廃材の再生可能性が課題となっていました。「そういった部材を使って、何か新しい商品ができないか」との思いから「東京メトロアップサイクルプロジェクト」が立ち上がりました。

「引退車両に新たな価値を」をテーマとし、本来捨てられるはずだったものに新たな価値を加え、アップサイクルを図ることで、地下から街へと活躍の場を広げていくことを目指しております。

これまでの取り組みとして、2023年10月には第1弾商品として02系シート生地を活用したポーチ類を発売し、150個の在庫がわずか3分で完売。2025年1月には第2弾商品として技術職用作業服を活用したワークキャップをクラウドファンディングで販売し、期間満了前に目標達成・完売。2025年4月には再び02系シート生地を活用したペンケースを発売し、50個の在庫が30分ほどで完売するなど、いずれも大きな反響をいただいております。

第4弾商品となる今回は、東京メトロにおけるアップサイクルプロジェクトの起案者の一人が、写真撮影を趣味としていたことから、本人がカメラ用グッズをアップサイクル商品で制作したいという強い思いを抱き、数多くのカメラメーカー等にご相談を重ねてまいりました。その結果、前向きにご検討いただいたリコーイメージング株式会社との共創が実現いたしました。

両社で活用方法を検討する中で、強く頑丈に作られているシート生地の強みを生かし、高価なカメラと一緒に身近に長くご愛用いただけるカメラストラップとして商品化いたしました。

東京メトロでは今後も引退車両を活用したアップサイクル商品の企画、商品化を推進し、お客様への新たな価値提供を目指してまいります。

9. お問い合わせ先について

東京メトロお客様センター <https://www.tokyometro.jp/support/index.html>

リコーイメージングお客様相談センター TEL0570-001-313 (10:00~17:00)

※日曜・祝日・年末年始・特別休業日およびビル施設点検日は休業

東京メトログループのSDGs（持続可能な開発目標）への貢献について

東京メトログループは、サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）の特定に合わせて、SDGsに掲げられている17の目標、169のターゲットとの関連性を整理しました。引き続きマテリアリティに係る各種施策を通じてSDGsの達成に貢献していきます。

なお、本リリースの取組みは、主にSDGsにおける目標12番「つくる責任 つかう責任」に貢献するものと考えています。

東京メトログループのサステナビリティ重要課題とテーマ

<https://www.tokyometro.jp/corporate/csr/materiality.html>

サステナビリティレポート2024

<https://www.tokyometro.jp/corporate/csr/report/index.html>

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

12

つくる責任
つかう責任



当商品の製造工程について



車両基地にて、引退する車両からシート生地を採取・専門業者でクリーニング



シート生地と裏地・袖章や織ネームを組み合わせ、手作業でひとつずつ縫製



「新たな価値」をもったアップサイクル商品 カメラストラップに再生！
 (上)東京メトロ×PENTAX カメラストラップ 丸ノ内線 02 系 (普通席(赤))
 (下)東京メトロ×PENTAX カメラストラップ 丸ノ内線 02 系 (優先席(青))